

# **2008年3月期(2007年度) 上期決算概要**

**2007年11月14日  
日本電気株式会社**

**(<http://www.nec.co.jp/ir/ja>)**

＜将来予想に関する注意＞

本資料にはNECおよび連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や米国証券取引委員会等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）規則を定めている1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）その他の適用法令に準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いいたします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、（1）NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、（2）市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、（3）激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、（4）NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、（5）NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、（6）市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、（7）為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、（8）2006年3月期米国証券取引委員会（SEC）向け年次報告書（様式20-F）を提出することができないことおよびSECに提出した過去の財務諸表の修正再表示が事実上不可能であることによる影響ならびにNECが過去にSECに提出した財務諸表が依拠できないことを公表したことによる影響、（9）SECにより継続されている非公式調査に関する不確実性等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行うことはできません。たとえば、米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づく証券の登録が行われ、NECおよび経営陣に関する詳細な情報ならびに財務諸表が掲載された英文目論見書をもって公募を行うこととなります。

（注）

当社は連結財務諸表作成に関する会計基準を06年度より「米国基準」から「日本基準」に変更しております。

# I. 決算概要

# 2007年度上期決算総括

## 上 期

### 通期目標に向け順調な進捗

- ・売上高 21,406億円 (YoY 4%減)
- ・営業利益 274億円 (YoY +199億円)  
～モバイルターミナル、半導体が黒字化達成
- ・NGN構築事業売上高 計画通り800億円を実現

## 通 期

### 期初営業利益目標1300億円を必達

- ～上期営業利益は上振れも、環境不透明要因を考慮  
事業分野ごとには若干の強弱感あり
- ～今後の成長加速を実現するため戦略施策の実行  
→全社戦略費用100億円を具体化しIT/NWセグメントに組替え

# 上期実績/通期予想サマリー

(単位:億円)

	上期		
	06年度 実績	07年度 実績	前年 同期比
<b>売上高</b>	22,216	21,406	- 3.6%
<b>営業利益</b>	75	274	+199
<i>売上高比</i>	<i>0.3%</i>	<i>1.3%</i>	
<b>経常利益</b>	-118	98	+216
<b>当期純損益</b>	-99	-47	+52
<i>売上高比</i>	-	-	
<b>1株当り純損益(円)</b>	-4.94	-2.43	+2.51

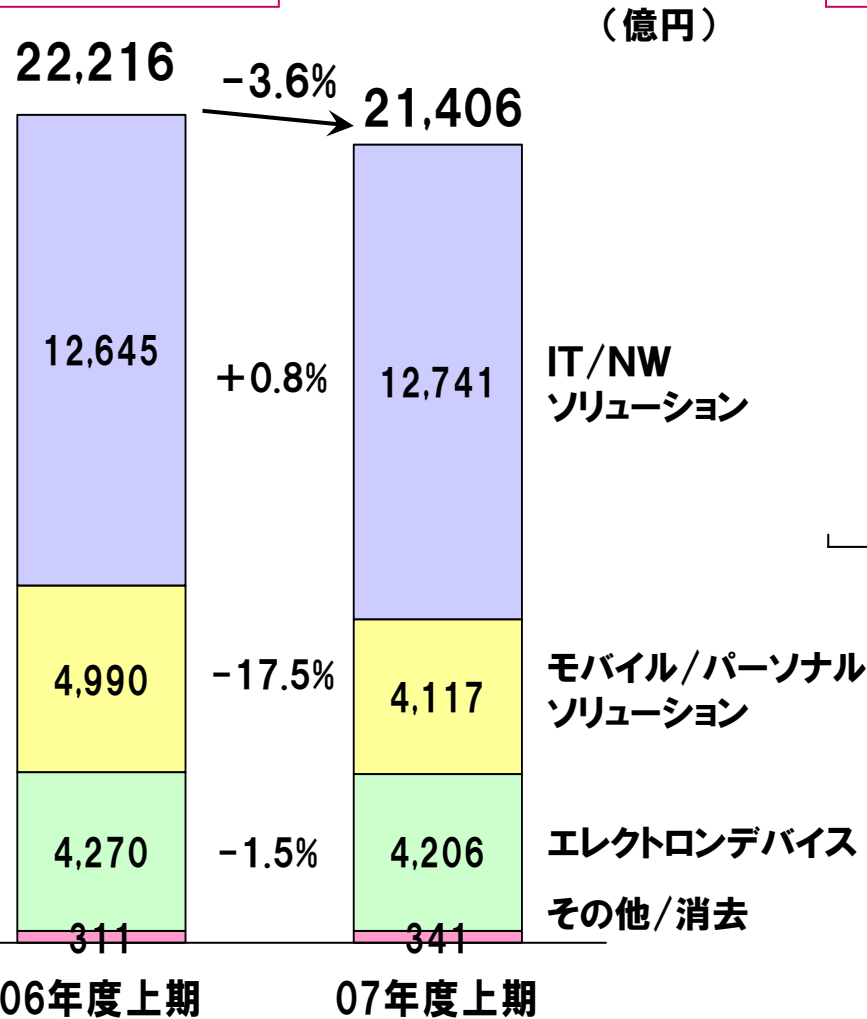
	通期		
	06年度 実績	07年度 予想	前年 同期比
	46,526	47,000	1.0%
	700	1,300	+600
	<i>1.5%</i>	<i>2.8%</i>	
	163	800	+637
	91	300	+209
	<i>0.2%</i>	<i>0.6%</i>	
	4.43	14.81	+10.38

\*予想値は2007年11月14日現在のもの

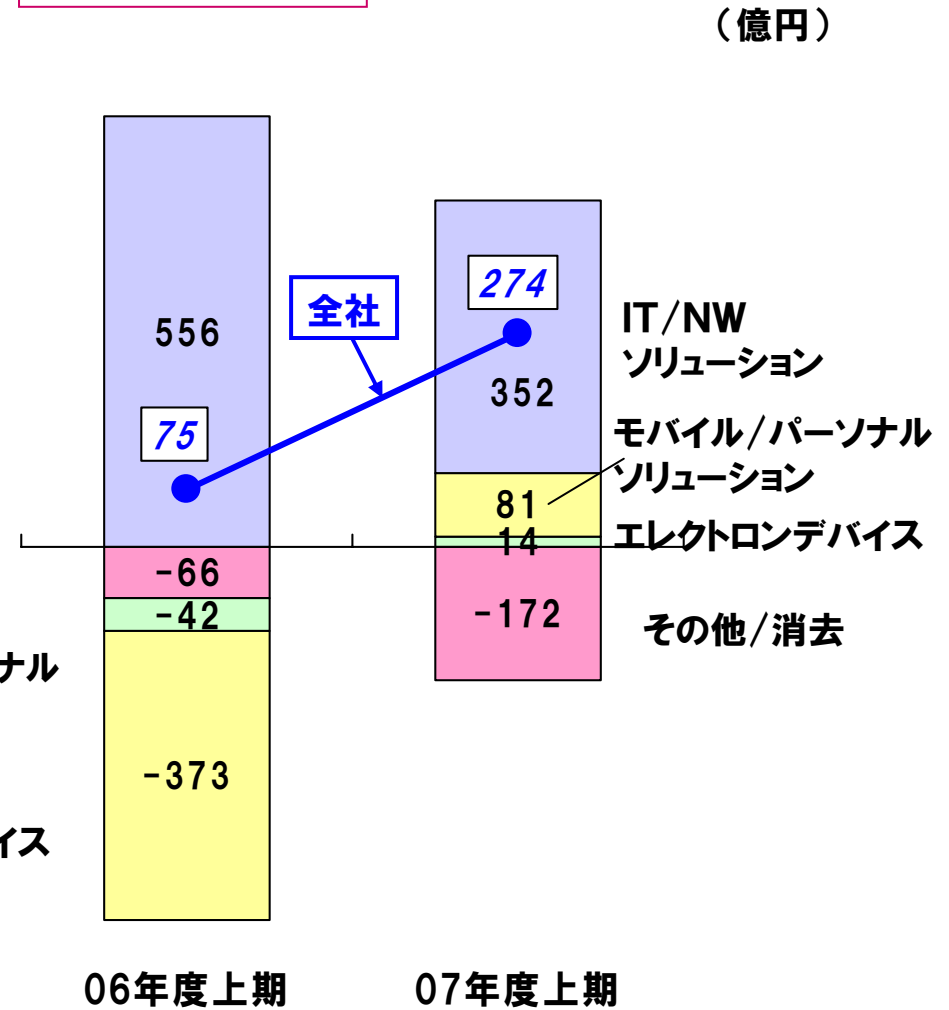
## II.セグメント別事業の状況

# 07年度上期 セグメント別実績

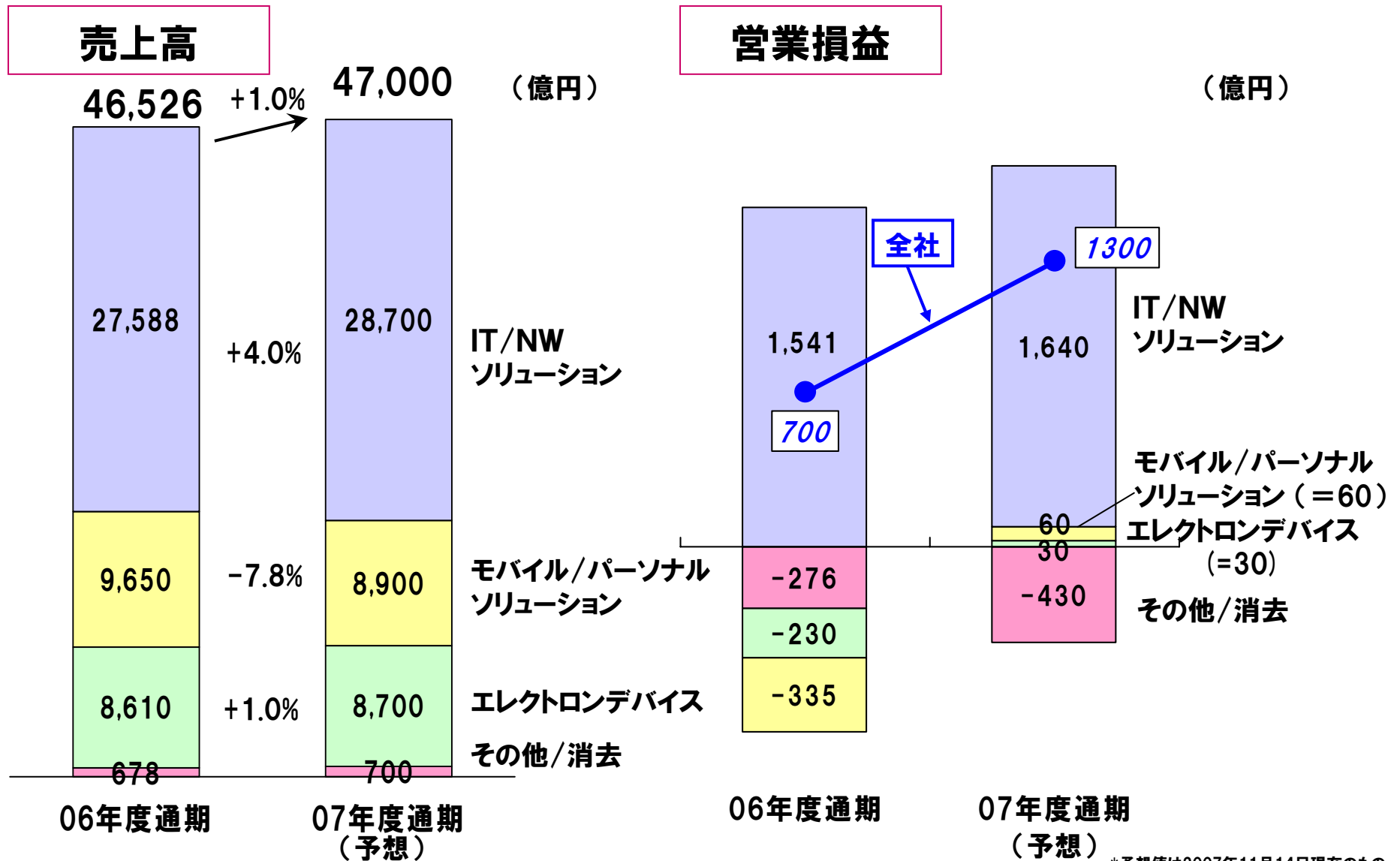
## 売上高



## 営業損益



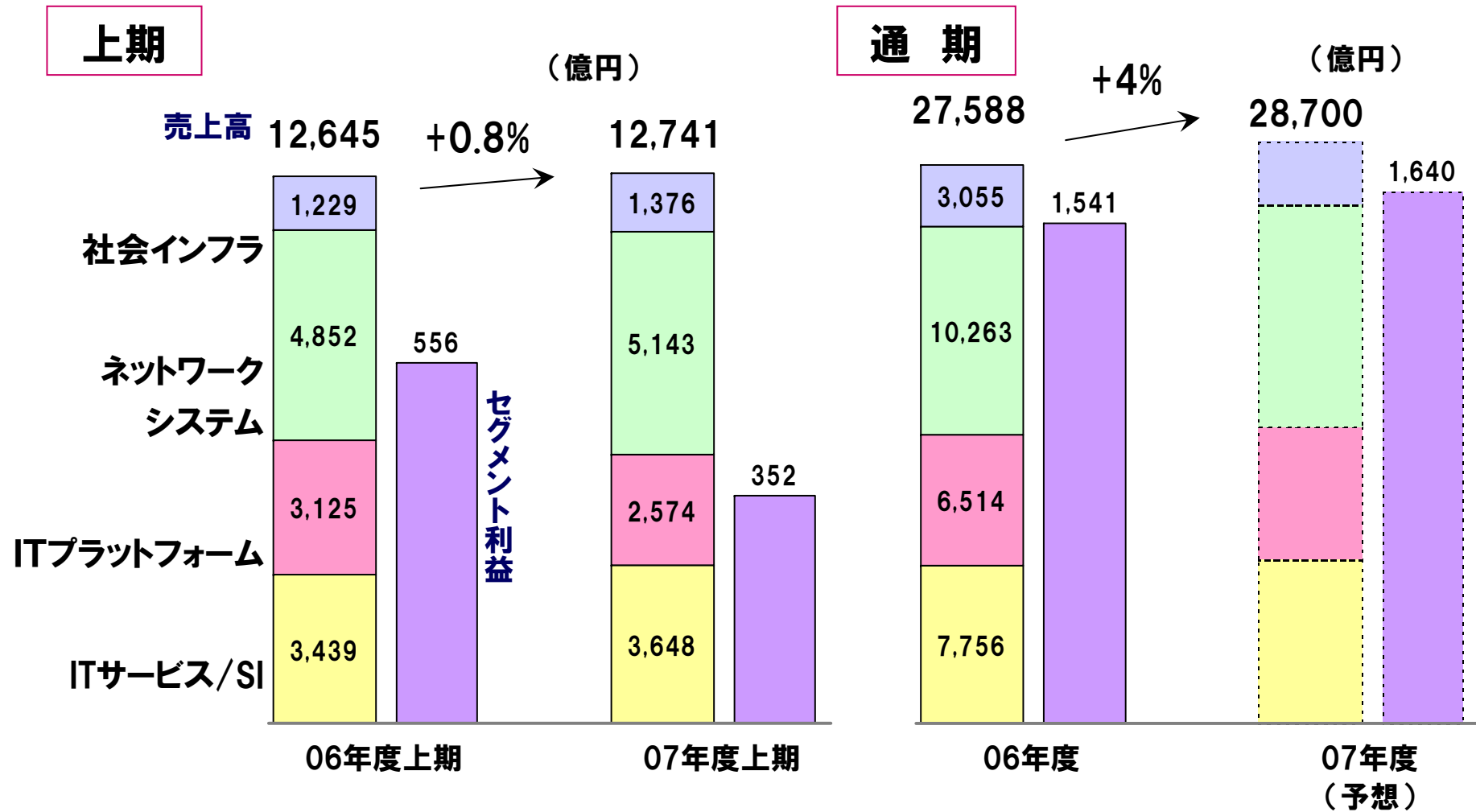
# 07年度通期 セグメント別予想



\*予想値は2007年11月14日現在のもの



# IT/ネットワークソリューション事業



\*予想値は2007年11月14日現在のもの

# IT/ネットワークソリューション事業

## ■ ITサービス/SI:

- ◇上期:景気拡大を受け、官庁、金融など、ほぼ全ての業種で堅調。  
SI生産革新、外注費、内部費用削減などで収益性改善
- ◇下期:サービスプラットフォームなどを核にした市場を上回る成長と  
さらなる効率化で、通期で利益率前年度比1%改善を目指す

## ■ ITプラットフォーム:

- ◇上期:厳しい価格圧力が続く中、DVD販売機能移管に加え  
案件端境期の影響などにより売上・損益ともに低迷  
強力な新製品の投入  
グリッド・ストレージ(ハイドラストアの製品化) 9月発表  
世界最速ベクトル型スーパーコンピュータ「SX-9」 10月発表
- ◇下期:売上拡大による収益改善を計画
  - ・堅調なIT投資を背景に、SIと連携した出荷増
  - ・差別化製品を核に拡販



# IT/ネットワークソリューション事業

## ■ ネットワークシステム

### ◆ キャリア:

◇ 上期 前年上期のMNP対応投資集中期に比べ投資一巡  
パソコンが引き続き伸長、累計出荷60万台を突破  
世界最大規模の海底ケーブルプロジェクト(AAG)など進行中

◇ 下期 NTTのNGN商用サービス 08/3に開始  
国内・海外の事業拡大にむけた取組強化

### ◆ 企業:

◇ 上期 大型案件の受注好調(ペニンシュラ東京など)

◇ 下期 ユニファイドコミュニケーション領域を強化  
グローバル市場に向けた新商品投入



ザ・ペニンシュラ東京  
全客室と従業員向けに「N902iL」を納入  
SIPサーバでフルIPシステムを構築



# IT/ネットワークソリューション事業

## ■ 社会インフラ

- ◆ 上期: 地上デジタル放送関連の設備投資一巡  
航空宇宙防衛分野で売上増

“ポスト地デジ”は映像ソリューションに注力

### トピックス

月周回衛星「かぐや」打ち上げ成功

NECが主契約者として

プロジェクトとりまとめ

現在所定の月周回軌道に投入され

12月中旬以降定常観測に移行予定

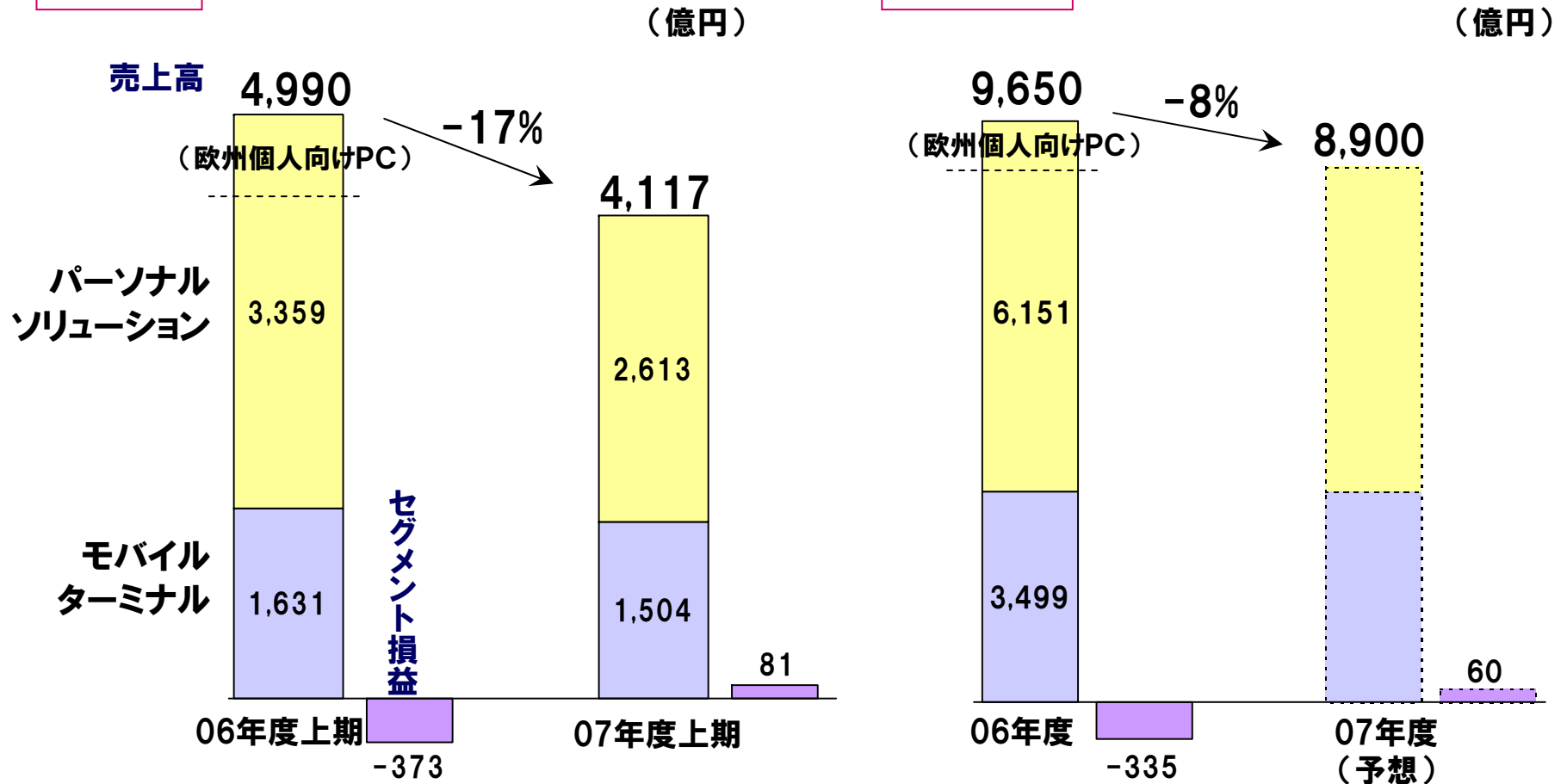


写真: 月周回衛星「かぐや(SELNE)」提供 JAXA

# モバイル/パーソナルソリューション事業

上期

通期



\*予想値は2007年11月14日現在のもの

# モバイル/パーソナルソリューション事業

## ■ モバイルターミナル:

◇上期: 出荷台数 210万台

計画比やや減少も、端末多様化の中で国内向け商品力強化を進捗

◇下期: 出荷台数目標 約250万台

更に魅力ある新商品を展開し、出荷台数増とシェア回復を目指す



N905i

- ・ブレないスピード撮影が可能な5.2メガカメラ
- ・3インチフルワイドVGA液晶と「ヤマハサウンド」の高音質で楽しめる充実のワンセグ機能



N905i μ

- ・90系最薄12.9mm
- ・3インチフルワイドVGA液晶 +「ヤマハサウンド」搭載
- ・エレガントかつスタイリッシュなデザイン

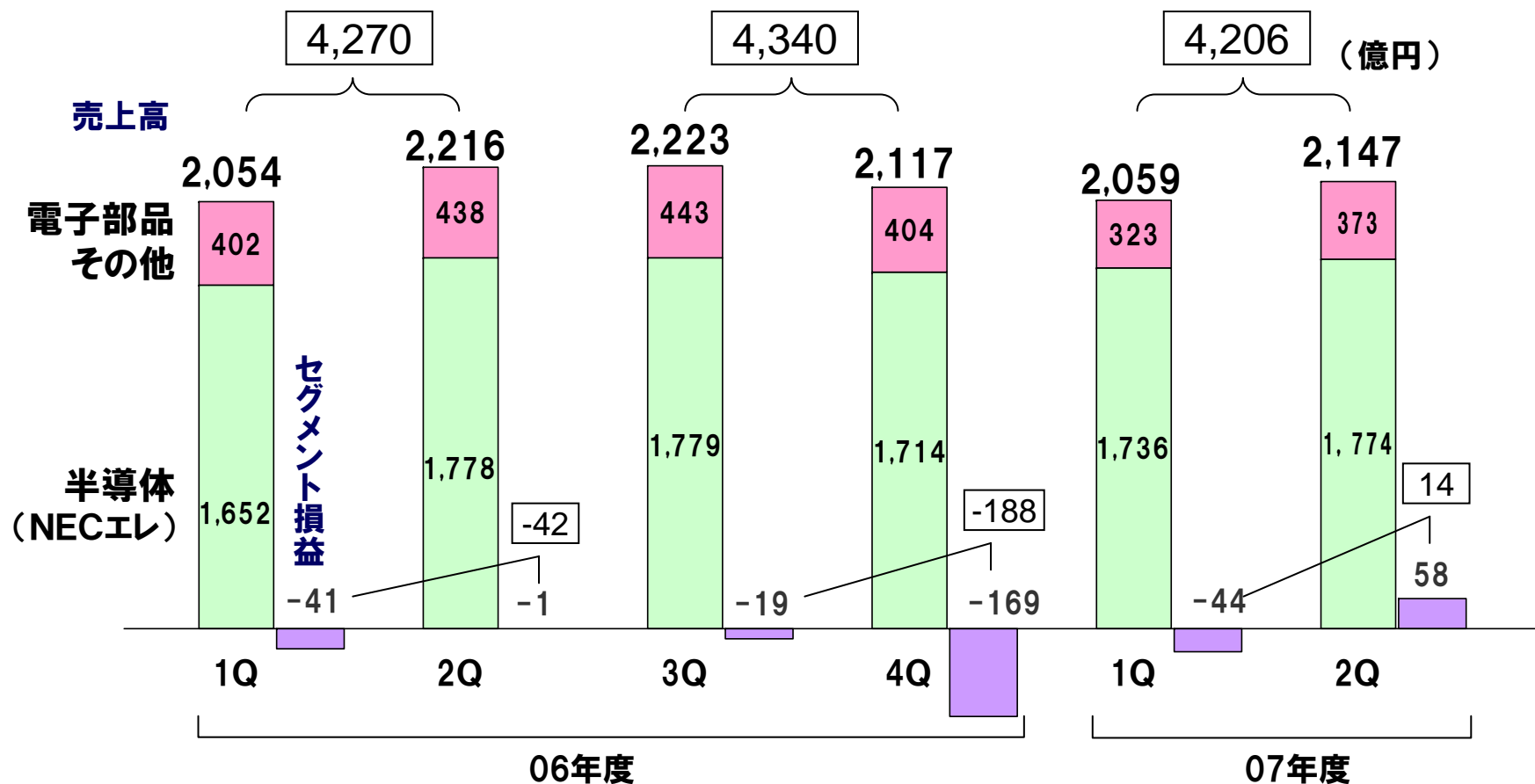
## ■ パーソナルソリューション:

◇上期: 欧州個人向けPC事業売却で売上高が減少するも収益を確保

◇下期: 国内PCシェアNo1を堅持し、

通期で前年度並みの出荷台数を目指す

# エレクトロデバイス事業



(億円)	06年度				07年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
半導体営業損益	-58	-12	-38	-178	-22	41

※注 半導体分野の業績は、NECエレクトロニクス(株)が米国会計基準に準拠した財務諸表を公表しているため、NECエレクトロニクスの公表値(米国会計基準)で表記しています。日本会計基準への修正による差異は、電子部品その他分野に含まれています。

Empowered by Innovation

**NEC**